



鍾書地學佳集

頭羅吧
鄧下



蓋し一休、嵩山、少くそ、少郡
の先系を、家も遊覧、まゝふ、足ま
る、嵩山、西生ありとて、「グレートン」カドルアルドリス
と、子、礦山の中間、メルシルチツドカヒル、城
の、人、民を、約、千、四、百、人、ありとて、海
濱の「スワンシ」城に、住、民、四、百、人、あ

き、て、鞆工、盛、たる、と、人、口、総、計、は
約、百、千、一、千、ありと、若、時、サキトニ
概、せ、し、人、種、の、後、裔、り、て、ローマン、人
に、敗、る、ま、じ、し、時、刻、に、自、主、を、な
さん、と、カエール、は、山、を、引、く、ま、じ、し、も、た
た、る、と

スコットランド「ハエンギラン」の北方は、地味、高嶺、
と稱する。此地を、山嶺多く、冬候
雪多し、耕種し難し。然も
佐地と稱する。南方を、冬候、
和し、地味、冬候、田土肥後、
其製造物を、婦人の衣服、生糧

羊毛、木柵、織物、類、鏡、機械等
系城「イーデングル」の士人の住
民あり、「イデングル」の堡寨「ホルール」の宮
殿天主堂、大學校、華美なる公館
等あり、を以て、其名高し。此外高
貴の地、たゞ、港あり、住民四百

子人あり「アベルデーレ」住氏七あり四
 人ありて製造物の巻たる
 地たるは「大學校」あり「アーツ・アンド・デンブル」
 城の傍「グラスゴウ」及「バース」
スコットランド 中第一の廣大なる城
 市ありて住氏三千九あり子人

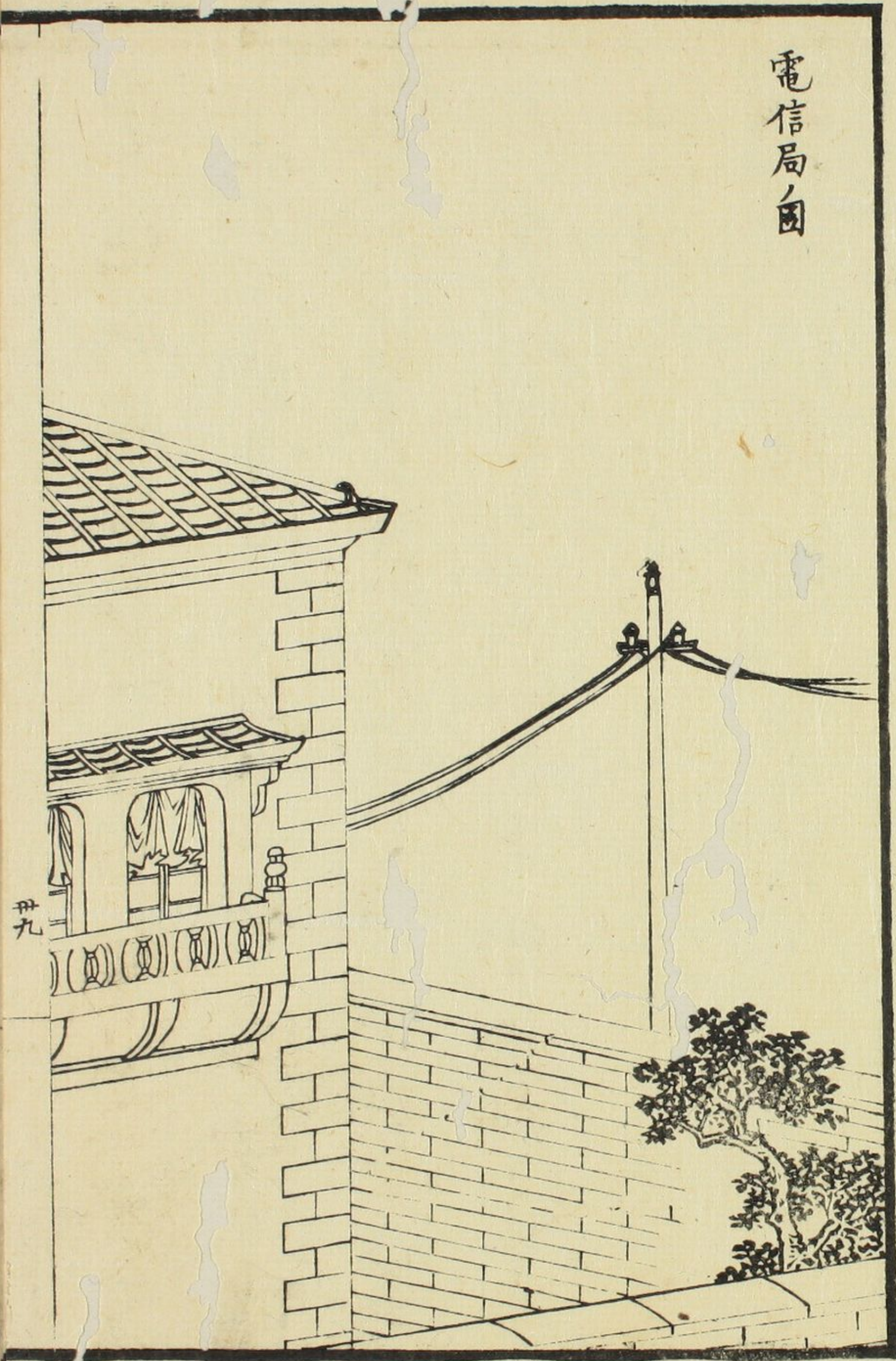
ありて「大學校」物織造
 局製造局ありて造船所あり
 ありて「大河」を「トカビー」
「アールツ」「タイ」「デイ」「スペイ」及「グライト」
 舟人の
 船ありて約三百あり但し鳥
 人もその内あり全國をなす

分ち又其内を三十三部に分ち
ありしりまも其素貴院を
るこ足まきり

「アイルランド」「エングランド」の両方とも
候 暁はしりしり 土脈を焼く
早山野より書き盡すもあつて

書盡し又島と名く其輸出
品を畜産物肉牛乳油生乳
餅 麻布 等々 河も
多く北都より出さる所城
ハ「カフニ」 河の傍りありて 大學校及
ひ華屋たる公館ありて住民

電信局の圖



廿九

其物々々居人此物買有盛なる
 地もコレクと積する海船の海
 口もコレクとなる其海船物々々
 九千人ありて製造物盛なりて
 海船大なるも「ライムリック」の「ジャンソン」河川
 河川を輸出品の盛なる港なる

其住民約四萬五千「ベルフハスト」人
住民十三萬人「アイルランド」中
麻あまの布ぬの貿易の盛んな地
を茅わらわ一と名「ウオトルフォルド」を住民二萬
三千人ありて高價を以て
海用品の輸出大なり全國を

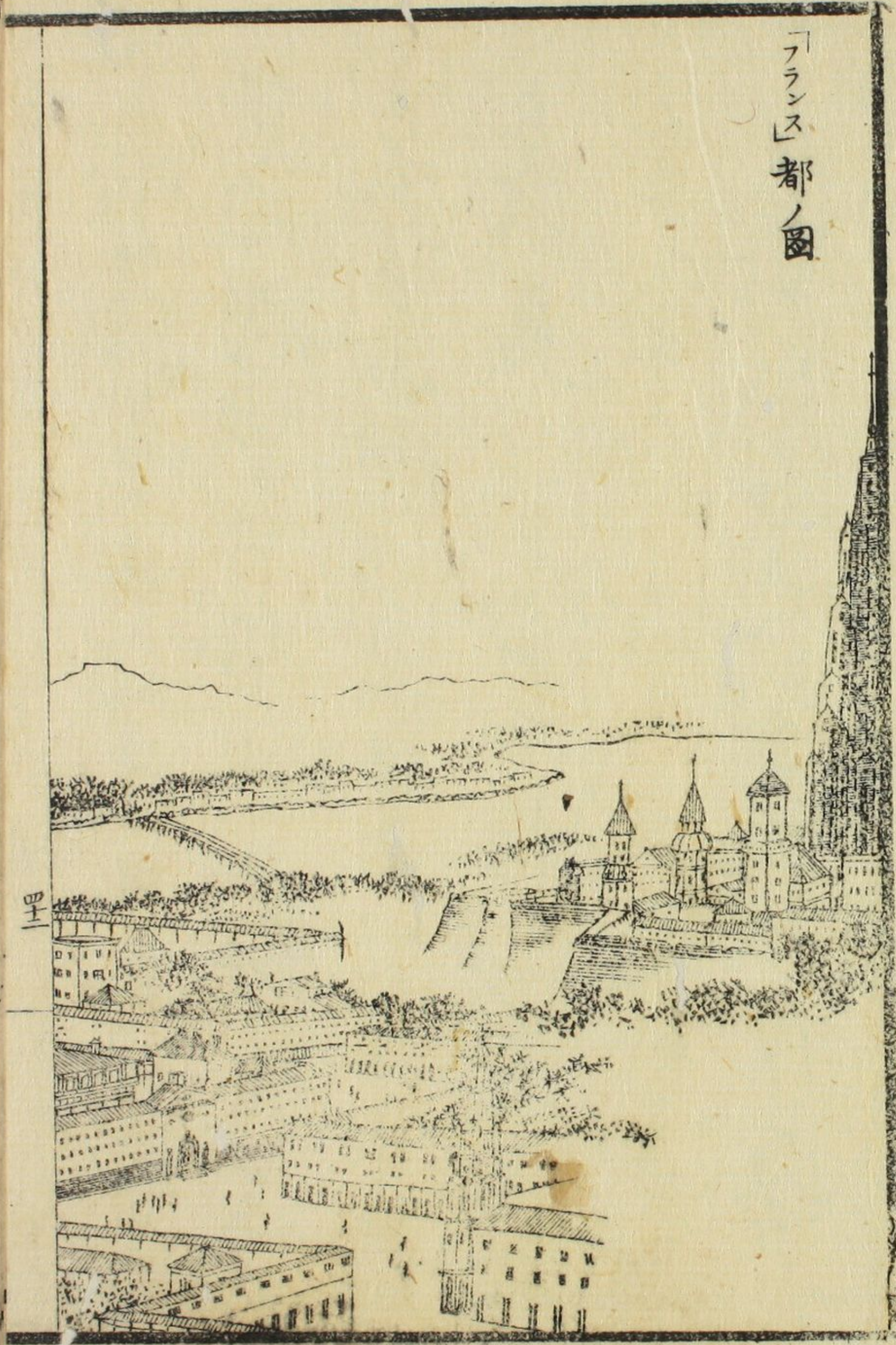
甲多アト又其地ニ二千二百部あり
人口の概計約五百七十五
萬餘素多四為一辛疾ふつ百五十
以來自ら五米ありか合衆國より
うつるに任するを以て物百餘人の
減少あり此地「デングル」海口の南にあり

「ワレンチヤ」島とある二線の電だん海うみ
機きを大西海に横よこを走る平へいのふ
ぶらあらしのふらふらやの富とみ屋や
けいそ 繁さか巻またうり

美吉ありき緯線赤く北
五十度と起り五十度と至

星羅線を北緯西百廿度
と起り百の十度と止る其の長
と七百哩 廣さ五百六十里に
しや「エンギランド」及び「カエールス」を
茶のつな「スコットランド」の三茶の「アイルランド」
の三茶のつなれ方里ありと総

フランス都の圖



里

計 十三ヶ条の方里ありと云

佛蘭西國 フランス

佛蘭西國を歐羅巴洲中使

ありたり西力より一権威強

大なり人民衆居あり帝

國なる地中海にありコルシカ島

とも一體して半九部を以て
其の四條の邊に條を以て地
を以て山川の名を以て民を以
て以て蓋し人の名を以て約
之を七を以て一を以て東城ハ「サイ」河
を以て西を以て大義美たるは殊市

りして住民百七十餘人ありハリス
下を以て此外を以て大たるは城市を以
て以て及び「サイ」河の合流を以て
製造物及び高貴なる物大
たるは「サイ」河の合流を以て
煙草を以て繁盛たるは港を

ルサイルカロン河の傍にある貿易此
港に於るホルドル以外カイニ河に沿ひ
製作物の方なきルラニ等也其
山を大岩案國との中間にお
フヒレニース伊古利國との間へ向るアル
シ大河をコイルカイニコイルガルローレ

小其氣候を温和する乳酪
具原産たるは南方の英國も
暖湿なり其産物を産する
易し此地の織造物を毛織物
麻布絹糸綿類織物鉄器
寶石等及玩具等輸出

品を織物、酒、火油、果物等
たゞ人民の性負を活潑爽快
し、其性情温順なり、其
を善く明とす、其敏捷なるを以
て譽名あり

佛蘭西國を緯線赤を

の北四十二度、起り五十一度
半、至り、其緯線を其緯
線、其緯線、起り百廿五
度、至り、其長を六百六
十里、廣を六百十五里、
と、其緯線、二十一度のあり

ありと

比利士國

ベルチ
ユム

比利士國の佛蘭西國の北あり
尚且小部の王國ありて煤山鏡
礦あり干あり人の後付あり
約五百里ありて歐羅巴海中



初代オホシノ

人民の多きこと
第一と云ふ京城
「ブルスセルス」を爽快
美事なりと云ふ十七
ありて千八百十五

多 文化十 第六月十日廿七日傷

「ウォートルル」より於て佛帝第一世

ナポレオン「ウエルリントン」の先侯

と著しき戦をたし英國勝

利を得る戦場なり其完大

なる城ゆをスケルトニ治心廣

大なり其堅固たる織造多クア

ントウエルプ「本棉及他の織物を以て

名ある「カル」織物の製造及煤

山中の炭を以てあるを以て卷

たる「レアズ」英國とは往來する郵船

の福轉する「オステンド」等たる此國

民之性^{おひ}剛^{こわ}にして執^{とら}拗^{おつ}及^お智^ち造^{ぞう}
稼^{かせ}穡^{しよく}ホコ^こ菊^{きく}の^{ぎく}と大^{だい}有^ある^る利^り
蓋^{あは}を^を得^とる^る也^{なり}

伊^い利^り西^{せい}國^{こく}を^を歐^{おう}羅^ら色^{しき}の^の西^{せい}北^{ぺい}
よりありて北^{ぺい}緯^い線^{せん}五^ご十^{じゅう}度^ど
より起^{おこ}りて五^ご十^{じゅう}二^に度^どに^に至^{いた}り^り經^{けい}

線^{せん}を^を長^{ちやう}崎^{せき}の^の偏^{へん}西^{せい}百^{ひゃく}廿^{じゅう}四^し度^どに^に
起^{おこ}りて百^{ひゃく}廿^{じゅう}七^{しち}度^どに^に至^{いた}り^り止^とまる^る其^{その}
長^{ちやう}を^を百^{ひゃく}九^{じゅう}十^{じゅう}五^ご里^りと^と廣^{ひろ}さ^を百^{ひゃく}十^{じゅう}
里^りより^{より}総^{そう}計^{けい}一^{いち}萬^{まん}九^{じゅう}百^{ひゃく}
廿^{じゅう}四^し里^りあり^り

荷蘭國

ホルラ
ンド

荷蒙國ハ比利士國の北方ニ處シ
北海ニ接ス。英國トも界ス。少部ノ
王國ナリ。土地ニ偏平ナリ。海峽
ヨリ大ニ低キ所アリ。因テ海濱ニ
沙を積ミテ高ク堤防を築
テ以テ其溢満スルを禦ク。氣

依ハ冬ハ嚴冷ナリ。夏ハ又
温霽ナリ。然レモ土脈膏腴
ナリ。有用ノ草芥を生ズ。原
多ク。畜養を飼養ス。原
野アリ。物産及輸出品ニ大麻
苧麻油。糖芥。畜養。牛乳油

アツ
 トル 牛乳餅 ブッキー 壽 タマゴ 人の總
 計 三百七十五萬 京城 アムストルダ
 此は貿易の港たることと 歐羅巴
 洲中 第一の城市と云ふべし 其
 住民を約三千に算せしむべし
 街衢 ガイキョウ 大なる 河をき通し

あは此外 繁華たる 城市 ハッグ
 と 唱へ 重々 國王の 住所 ありて 且
 貴族の 集居 キキウ する 所 シヨ たる こと ロツトル
 大なる 貿易の 港 たる 故 以て 亦
 一の ロードン 大 學校 及 麻布 木
 綿 織造 局 ありて 甚 たる 大 河

學校ノ圖



ハ「リ」ン「カ」ース「シ」ケルト「サ」キ
 「テ」エ「ソ」チ「ト」稱「性」質「清」潔「を」好「ム」
 勤「ク」シ「ク」儉「約」
 序「列」國「を」歐「羅」巴「の」西
 如「何」ニ「ア」ル「ク」北「緯」一「線」五
 十「三」度「ニ」起「リ」五「十」四「度」ニ「至」

王位強き時、偏西百廿二度
之北、百廿五度に到り、其
長さ二百里、廣さ百廿里に
之、総計二百三十五百の
里あり

大呂宋國 スペイン

大呂宋國 ハブラニース 山を以て佛
茶兩國を境界し、葡萄牙國
と其に西羅己洲、西南の半島
を以て、大部の王國なること
人々の約一千七百七十五里、東城

「マトリツト」「カグース」河の海にありて住
民物四十七萬五千一人此國を
治る者たる城市を「ハルスロナ」「マラガー」「カジス
ト」をいへりも海濱にありて貿易
易を治る者北より南の時和暢を
治る者南より北の時熱よりて

中此教のを信仰して邪
種教のを信仰せざるは此
地を治る者一人君獨裁
す
デスポチツクと稱し「スルタン」又「グランドシグニナル」た
る國君のまを其地の法
律となす人民の産物も

と五百三十里より一程付
十七の所九の万里あり

葡萄牙國 ホルトガル

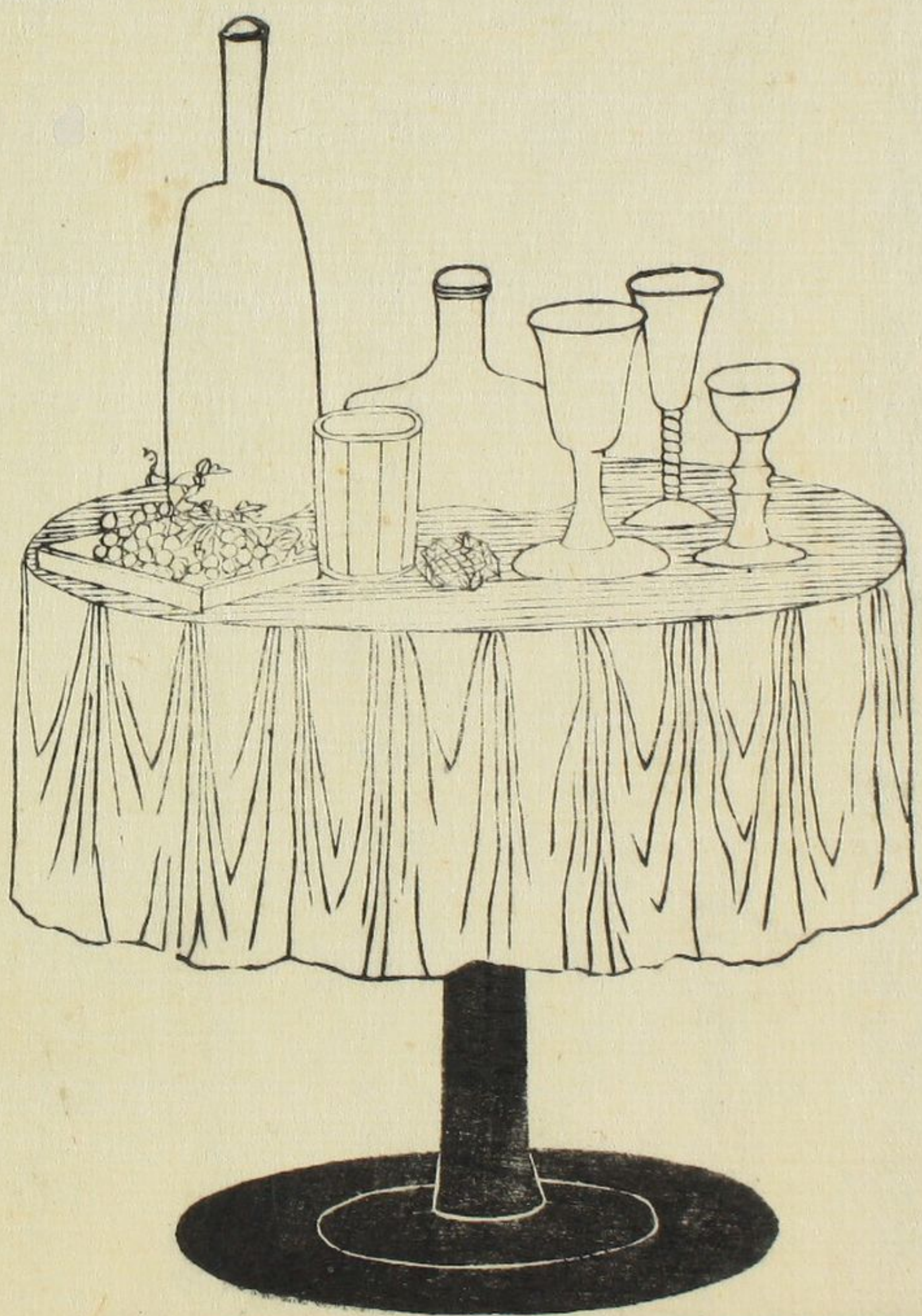
葡萄牙國より大なる宋國より遠
西南の海を有せし一島の
五國なり中央及南方を以て

と云ふ候海熱なること難く大西
洋海より以て大なる熱風爽快
なり毎に大なる地味に所より
大なる膏腴なり其重なる物産
を葡萄酒を第一にして其味百穀
の味より大なる味なり

輸出品を「ドウロ」の河口にあり
貿易港たる埠市「オボルト」の
西隣に於て多量の礦産
す「ホル」海峽を人々の船が
約四百里あり東城「リスポン」を「ダグリス」の河
口に迫り華美なる城市たる

約二千七百ありその住民あり
人民の性質ハ温暖なり
温暖なること大凡そ白人と同
蓋し十の内に九を南も黒
強壯にして勇り勇敢なり
も元来汚穢なることを以て

百種ノ名酒ヲ製造
陳列スルノ圖



と農氏にありて其甚
 家^{かみ}に粗^そた^たる^る甚^たり^り及^及
 其^その^そ物^{もの}を
 其^その^そ物^{もの}を
 其^その^そ物^{もの}を

葡萄^{ぶどう}の^の緯^緯線^線を^を赤
 其^その^そ物^{もの}を^を起^起す

早十二度とあり経線百二十
七度とあり百二十九度とあり
止り長三百六十拾里廣さ百
四十五里とあり総計三
百七十五の万里あり

以太利國 イタリー

以古利國の歐羅巴洲南方の
大なる半島ありそ地中海
張出り其形ち猶も塔に似たり
ありそ半島は西を地中海ありそ
北は地中海に繞りたるを以て每帯
歐羅巴洲の國林と稱せり

國を羅馬法王僧の所屬たる
 小國を海まじり島サルデニヤ島及び
 本島の全體を後轄し佛蘭
 西國阿士互拉國との中間に
 「アルプス」山ありて北方は境界と
 「子ープルス」山の傍に大山ありて「ウエシユウヒユ

区と云ふは又「シリ」島の北に「エトナ」
 と云ふ大河ありて「ポー」「チベル」「アル」の
 此王國中一の京城「フロレンス」「アルノ」
 河を沿ひ北に其領民の多
 一帯ありて此の島をなす城市
 「ハホウ」河の傍にあり「トリン」「アドリヤチツ」の沿

以吉利吉水結
 三十七度
 經線
 西百廿三度
 其長七百二十
 里

總計 十二萬九千方里

土耳其國西境 ユーロピヤ
ントルキヤ

土耳其國西境の歐洲中
 東南何出拉拉國普魯士國の
 南の位置する大國たるは
 和順なる堅原

ハルサ
ハフラン
寫生



地脈膏煉
海參の佳木
穀物菓實を
生るを「サーロセルツ」
フルツ 河草の枝
流を捕

「タヌーグ」河を凡二千里の長作
る流を黒海に入る此如穂の
人口を約一五六百萬五千萬京城
「ユンスタンチン」ハ「マルノラー」
海と黒海の留
なる海峽「ホスホルス」傍らあり此外
の埠市を「アドリヤノーブル」「ソフヒヤ」と云

輸出の志を以て其の利果を其婦
 人の衣服生種かたき人の民の
 性質を以て勇猛を以て威儀あり
 とも古概を以て急情を以て多
 くの智者文の旨たるを教門を以て
 又マホメたるを以て美を以て歐羅巴洲

中此教のを信仰して耶
 和教キリシタンの帰依せざるは此
 抑てを以て限る其治の立君獨裁
デスポと稱し「スルタン」又「グランドシグニラ」た
チツクる國君のまを其地の法
 律となし人民の産其業を

波人はに一ひと 甚おほ一ひと 甚おほ一ひと 甚おほ一ひと 甚おほ一ひと
性せい多おほ一ひと 教せう客かくもおほ一ひと 只ただ一ひと
此こゝ 婦むすめ 相あひま 所ところ あり

西にし 中ちゆう 其その 國くに 而を 繞めぐ り 緯緯 線線
南みなみ 緯緯 線線 の 北きた 緯緯 線線 と 起おこ せ
四よ 十じゅう 七しち 度ど あり 經けい 線線 の 長なが

此こゝ の 緯緯 線線 西にし 緯緯 線線 と 起おこ り 百ひゃく 十じゅう 四し
度ど あり 出で づ 其その 長なが と 七しち 百ひゃく
廿にじゅう 二に 度ど あり 廣ひろ さ 六む 十じゅう 九く 拾しゅう 里り
總くわ 計けい 二に 十じゅう 二に 度ど あり 方かた 里り あり

希臘國ギリヤス

希臘國ギリヤス の 西にし 緯緯 線線 の 南みなみ 方かた

書林

東京

淺	横	同	馬	横	通	小	同	大	室	元	飯	同	同	同	同	芝	同	同	同
州	山		喰	山	傳	傳	馬	傳	馬	四	倉								
茅	町		町	町	馬	馬	町	町	町	町	倉								
町																			
二	三	二	一	油	三	三	二	三	日	五		明	一	四					二
丁	丁	丁	丁	町	丁	丁	丁	丁	市	丁		所	所	所	前	目	目	所	目
目	目	所	目	目	目	目	目	目	目	目	所	所	所	前	目	目	所	目	目

須	和	山	森	出	藤	山	袋	丁	紀	和	萬	岡	和	内	和	和	金	小	山
原	泉	口	雲	岡	崎	子	伊	國	泉	田	泉	野	泉	泉	花	城			
屋	屋	屋	屋	寺	屋	屋	屋	屋	屋	屋	屋	屋	屋	屋	屋	堂	林	屋	
伊	金	藤	治	万	廣	清	龜	平	源	半	忠	嘉	市	彌	吉	善	佐	新	佐
右	兵	兵	次	次	次	兵	兵	兵		兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵
八	門	衛	衛	郎	郎	七	郎	衛	衛	衛	蔵	七	衛	治	衛	衛	助	衛	衛

地學往來二編終

富山重刊

里後付一萬五千の力

書林

東京

和十四龜鞠難松同同南通大本鍛須柳昌傳下淺
 泉橋柳原通岩本町店路町目町町所所目目目目目目町外前町路
 軒市井町波嶋
 廣小丁
 一四一二二一稻橋院仲廣小
 丁丁丁丁丁

高鈴二箕磯鶴若三近武長三椀紀和川嶋馬岡淺
 木三部河江藏門家伊泉越金

和木屋田屋屋林屋屋屋屋村屋屋屋屋屋屋村倉

助喜三精太喜喜久半惣龜佐喜梅勘松平清庄久
 右三郎右兵兵五兵次右次兵
 衛兵衛兵

允門二郎衛門衛衛七郎七平衛郎門郎七吉助衛

